

しみずの教育

ちよつとよい話

【令和元年 5月号】

清水小学校

校長 高井 正樹

みんなで楽しんだ「1年生を迎える会」！



4月26日(金)に、「1年生を迎える会」が開かれました。入学から3週間が経ち、少しずつ小学校の生活に慣れてきた1年生たちは、「学校探検クイズ」や「しっぽ取り」などのゲームで楽しんだり、元気な声で「さんぽ」を歌ったりしました。上級生たちも一緒に楽しむことができ、連休前にとっても充実した時間を過ごすことができました。

この日のために、周到な準備をしてきた6年生は、始めから終わりまで完ぺきでした。会が終わったあと、やりきった感をにじませ

ながら、誇らしげに和気あいあいと体育館の中を片づけていく6年生は、すでに最上級生としての風格を醸し出していました。

御影小学校

校長 清水 弘

みんなで楽しんだ「1年生を迎える会」！

4月26日(金)、1年生をむかえる会がありました。6年生の司会進行で8つの班に分かれて3つのゲームを行いました。

初めは少し緊張気味の1年生でしたが、会が終わる頃にはすっかり打ち解けている様子で、会場みんなが笑顔になり素敵な会になりました。

会を企画した6年生は、司会やゲームの説明、お手本、グループ内での進行など、それぞれが工夫を凝らし立派に役割を果たし、「さすが、6年生！」という感じでした。今後も、最上級生としての活躍に期待しています。



清水中学校

「つなぐ部活動の伝統を！」

校長 尾崎 俊明

真新しい制服に身を包んだ新1年生は、中学校生活を1ヶ月終え、授業や部活動にも一生懸命に取り組む姿が見られます。教科毎に先生が替わったり、英語の授業が増えたり、また部活動では、初めて取り組む競技に戸惑いながらも先輩に教えてもらいながら頑張っています。

今年は、新1年生が40名の1学級。例年に比べ人数が少なく、各部活動では先輩たちの熱烈な勧誘が行われました。多くの新入部員を迎えた部は、活動にも一層力が入ります。

すでに春の大会が行われた部活動もありますが、これから夏の大会やコンクールに向けて1年生も一緒に汗を流し、充実した活動になることと思います。



先輩たちも後輩を前にして良いところを見せようと頑張ります。

学級活動や授業、今後本格的に始まる「体育祭」などの行事、部活

動など様々な経験を通して、真の「清中生」に向けて一歩一歩前進し成長します。

皆様には是非、頑張る中学生の姿を温かい目で見守っていただくとともに声かけいただけましたら幸いです。



生徒会スローガンから

～気づき、考え、行動する生徒～

校長 塚原 雄二

4月11日（木）に新1年生を御影中学校に迎えて、生徒会執行部で生徒会入会式・部活動オリエンテーションを実施しました。この企画は新入生に快く、安心して御影中学校の生活に入れるよう、毎年生徒会が企画している行事です。生徒会長挨拶の後、生徒会組織、活動などを紹介し、その後各部活動について思考を凝らした入部勧誘の紹介がありました。活気あふれ、まじめな話や砕けた話、練習の様子の実演、パフォーマンスに満ちた発表があり、面白い進行で見ているものの目をくぎ付けにする内容でした。

最後に、生徒会からこの1年間、御影中での行動目標としてスローガンを掲げている。毎年恒例の企画で、今年度書記局4人で考えたスローガンは「敢為邁往（かんいまいおう）」となりました。何と難しい四字熟語でしたが、意味は「目的に向かって困難をものともせず、自ら思い切って、まっしぐらに進んで行くこと」

です。四人の今年にかける意気込みが伝わってくるスローガンに感心させられました。是非、1年間この目標を掲げてすばらしい生徒会を創造してほしいと思います。

始業式では生徒全員で「気づき、考え、行動する」生徒になろうと呼びかけました。生徒会書記局は先頭にたって、御影中をリードしていこうという意味が明確になった入会式となりました。



宿泊研修で「その先」を考える

1 宿泊研修

4月24日（水）～26日（金）の3日間、107名の1年生を対象とした宿泊研修を新得町のサホロリゾートホテルで実施しました。

例年、教務部から高校での学習、総合学科推進部からキャリア教育についての講話、校歌練習を内容としておりますが、今年度の特色は自己理解や他者理解を深めるため、言語・非言語による言動により他者に与える影響やアンガーマネジメントなど、コミュニケーションプログラムを多く取り入れたことです。



また、外部講師による講演を取り入れたことも今年度の特徴です。一つは学習支援アプリ「Classi」について、ベネッセ担当者の近藤様から、もう一つは総務省、文部科学省の事業である「e-ネットキャラバン」の出前講座で講師の飛岡様から講演をしていただいたことです。講師のお二方からは、「話をしっかりと聞き、反応が良い生徒さんですね」とお褒めの言葉をいただきました。



生徒にアンケートをとったところ、宿泊研修について「たいへん満足している」、「満足している」、今後の学校生活に「とても自信が持てた」「自信が持てた」と答えた生徒は90%以上になるなど、高校生としての自分と「その先」を考えるきっかけとなる良い宿泊研修となりました。

2 清水町国際交流チェルシー市派遣報告会

5月10日（金）、清水町国際交流事業でチェルシー市に派遣された、牧野菜奈さん（3年生）、片山翔さん（2年生）、高畠雪奈さん（2年生）の3名による報告会を行いました。



チェルシー市のみなさんが郷土を愛する気持ちに感銘を受けたことや、公園などの公共施設が充実し、余暇には家族や友達が楽しく過ごしている事などについて報告し、1、2年生に向けて、来年も機会があれば参加してみるよう呼びかけてくれました。

（文責：教頭 山内 章裕）

清水幼稚園

園長 帰山 孝美

グラウンド・園庭転圧～枝拾い

風が強いのが特徴である清水町。幼稚園は特に山からの風を受けやすいのです。冬期間に飛ばされてきた枝があちこちに散乱していました。23日（火）に機械での転圧が入る前に、22日（月）にはばら組さんが全員で枝拾いをしてくれました。年長さんになると幼稚園全体のことを考えるのも仕事になります。作業も一



生懸命取り

組みすっかりきれいになりました。この翌日に重機で転圧されて安心して遊ぶ場所ができあがりました。

笑顔で遊ぶ園児の姿がとても眩しく見えます。

これからは思う存分元気に走り回ることができますね。



春の防火教室…VTR をみせていただきました

春の防火教室を4月22日(月)に行いました。消防署から梶原さんと消防団の方2名がいらっしゃいました。お話を聞いた後に、DVD「火災」「地震」の視聴では、キャラクターにくぎ付けで目を真ん丸にして真剣に見ていました。

火災では、火遊びをしないこと、花火は大人と一緒にすること。地震では、おさない、かけない、しゃべらない、もどらないの合言葉と自分の命は自分で守ることを学びました。

署員さんからの学んだ内容についての復習質問タイムでは、「ばら」「さくら」組がともに手を挙げて、学んだことを元気に答えていました。梶原さんから褒めていただきました。



第一保育所

戸外あそびの準備ができました!!

よく晴れた4月24日、年長児が保育所グラウンドの小石や枝拾いの作業を行いました。

冬の間盛りに上がった土をローラーで押し固め、平らになったグラウンド。戸外活動を楽しみにしているお友達のために、ひと足早くグラウンドに出て石拾いをしてくれた年長児はゲームを楽しむように小石や



枝を拾い集め、石がたまったバケツを友達同士で見せ比べ、満面の笑みを見せていました。

全児が陽の光りをたっぷり浴びて元気に遊ぶ準備が出来ました。

これからは運動会の練習も始まり、保育所のグラウンドにはにぎやかな声が響きわたることでしょう。

(保育士 喜多見 珠美)



新生活、スタート♪

4月から保育室や保育者が変わり、新しい環境になりました。特に未満児クラスのお友だちは戸惑ったり、寂しくて泣いてしまったりする様子が見られましたが、1日1日と積み重ねる毎に慣れてきており、毎日の積み重ねの大切さを改めて感じています。また、保育者に抱っこされて過ごしていた子も次第にお友だちと一緒に遊ぶ姿を見せてくれるようになり、集団生活の第一歩を歩みだしていますよ♪子どもたちの成長はここからスタートですね。今後も出来たことを一緒に喜びながら楽しく過ごしていきたいです。



「ボタンはめ遊び。集中！」



「暖かい日にベランダに出て大喜び♪」
(保育士 岡 那奈)

第二保育所

こいのぼりのように元気にすくすく大きくな～れ！

入所、進級をむかえて、ひとつ大きくなったことに心を弾ませている子ども達。

各クラス工夫をこらし、素敵な「こいのぼり」を作りました。

- 1歳児～うろこにシールを貼り、しっぽの部分は指スタンプで飾りつけをしました。みんな興味しんしんでした。
- 2歳児～うろこにのりを上手につけ4枚並べて貼りました。「べたべた～」と声を出しながら、のりの感触を楽しんでいました。
- 3歳児～はさみを上手に使い、うろこを切りました。はさみの使い方になんげ自信を持ってきていますよ。
- 4歳児～マスキングテープを使ったステンシルで作りました。初めての素材に苦戦している様子でしたが完成すると「うお～！」「すご～い」と歓声があがっていました。
- 5歳児～デカルコマニーで作りました。絵の具をのせてペタンとくっつけると模様が出来上がると大喜びの子ども達でした。



1歳児



2歳児



3歳児



4歳児



5歳児

(保育士 匂坂 裕子)

年長クラスになって

年長クラスになり、あっという間に1ヶ月が経ちました。そう組の子ども達はクラスの流れを覚え自分から進んで活動したり、小さい友達が困っていると優しく手を差し伸べたりと日々頼もしくなっていく姿が増



えてきました。そう組の子ども達は音楽がとても好きで、曲を流すと自分で振り付けを考えて踊ったり、口ずさんだりしています。そんな元気いっぱいの子も達は今、ピアノに挑戦しています。ホースに息を吹き込むことに苦戦をし、上手く音を出せなかった子ども達でしたが、何度も練習を重ねることで音が出るようになり、とても喜んでいました。

今では鍵盤に指を正しく置いたり、強弱をつけたりできるようになりました。次は打楽器にも挑戦する予定です！

年長児になり最後の1年、友達と喜びあったり、悔しがったりしながら色々なことに挑戦し、経験をしながら思い出いっぱいの1年になってほしいです。（保育士 金澤 沙彩）

認定こども園御影

新年度が始まりました！

4月になり、1つ大きなクラスになったことでとても張り切っている以上児さん。お部屋や担任が変わり少し不安そうな未満児さん。それぞれワクワク、ドキドキしながら10日（水）に対面式が行われました。小さいクラスは名前を呼ばれると恥ずかしそうに手を挙げる姿がとてもかわいく、大きいクラスは自分達で頑張りたいことなどを考え、元気に発表している姿に成長を感じました。その後園長先生に「御影保育所」から「御影こども園」へなったことや「所長先生」から「園長先生」になったことなどのお話を聞きました。（いまだに職員は慣れず、所長先生と呼ぶと子ども達から「園長先生でしょ！！」とご指摘が入ります。）

6月には新年度最初の大きな行事、運動会があります。1つ大きなクラスになった今、大きい子は小さい子の面倒をみたり、それぞれのチームみんなで力を合わたりするなど頼もしい姿が見られるのでしょうか！？今から6月の運動会が楽しみです。



春の遠足！！、、のはずが。



5月8日（水）に春の遠足がありました。天気予報はくもり。少し雨が降らないか心配でしたが、出発しました。今年の遠足も園長先生から場所の写真とヒントが書いてある紙を見て、みんなで探しながら歩きました。1箇所目に向かっている途中、ポツポツと雨が降ってきました。それでも写真の場所を目指し歩きましたが、雨は止まず。残念ながら中止となり、園に戻ってから遊戯場でゲーム大会をしました。運動会が近いこともあり、めろん組といちご組の2チームに分かれて行いました。各チーム大きい子が小さい子をリードし、みんなで楽しそうでした。

以上児さんが、公園で食べるはずだったお弁当。



当日は雨が降って残念でしたが、持ってきていたシートを遊戯場に敷き、みんなで大きな円になって食べました。みんなで食べる機会が少ない為、みんなで食べられることそしてシートを敷いて食べられることが楽しいようでした。お弁当の後おやつもゆっくり食べ、雨が降っても思い出に残った遠足でした。
(保育士 福原 千里)

教育委員会

しみず「教育の四季」推進協議会の開催

～町民総ぐるみによる教育支援体制をさらに目指して～

4月24日(水)、平成31年度第1回「しみず『教育の四季』推進協議会」を町文化センターで教育関係者や学校関係者45名の参加をいただき開催しました。“しみず「教育の四季」”を実践指標として「感性あふれ、表情豊かな子の育成」に向けて、皆様のご協力の下で歩み13年目を迎えました。

学校・家庭・地域が一丸となってさらに発展させ、多くの地域の皆様、保護者の方々に子どもたちの成長に関わっていただける「地域とともにある学校づくり」にむけ、“しみず「教育の四季」推進協議会”をベースに、既存の組織(学校支援ボランティア、学校支援委員会等)を組み入れる形のコミュニティ・スクール(CS)体制を導入することにいたしました。

名称は『しみず「教育の四季」推進協議会』とし、“しみず「教育の四季」及びコミュニティ・スクールの推進に努めていくこととなります。“しみず「教育の四季」”を大切にしたい取組は変わりません。

推進協議会では、主催者として長岡寛知会長、三澤吏佐子教育長のご挨拶に引き続き、コミュニティ・スクール導入に関わる“しみず『教育の四季』推進協議会”の新体制について、名称や設置要綱等の説明、年間活動計画が示されました。

その後、推進校である清水小学校、御影小学校、清水中学校、御影中学校、清水幼稚園から、各校で作成いただいた経営の「企画編」をもとにご説明をいただきました。

協議として「どのような環境や取組を行うことが、感性を育むために大切なのかなど「学校・家庭・地域の取組として協議」をグループごとに進めていただき発表を行い、協議会を終了しました。



(教育指導幹 福原 幸江)



しみず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から感性あふれ、表情豊かな子どもを育てる

春～さわやかな風の中で 元気に力強く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、背中に声かけ

行ってらっしゃい

地域は、笑顔で声掛け

こんにちば